

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-378-0480

年度	令和3年度
施設名	新潟市文化財センター 他 1施設
施設の設置目的	埋蔵文化財及び有形民俗文化財を保存し、及びこれらの活用を図ることにより、これらに対する市民の関心及び理解を深め、もって市民文化の向上に資するため、新潟市文化財センターを設置する。 日本海側で最大級の規模を誇る円墳である古津八幡山古墳を有し、及び文化財保護法により指定された古津八幡山遺跡に対する歴史遺産としての理解を深めるとともに、社会教育及び文化の向上に資するため、新潟市古津八幡山歴史の広場を設置する（歴史の広場に弥生の丘展示館を置く）。

当初予算(千円)	14,480	当初人員(人)	11(1)	作成日	R3.6.30
歳入		正職員		修正日	
歳出	58,796	会計年度任用職員	34	評価日	R4.6.23

No.	視点	目標	評価指標						参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標	R3結果				
1	市民	埋蔵文化財の保存・活用	・発掘調査報告書刊行(冊)	3	4	2	3	3	開発に対応した本発掘調査・整理作業及び報告書刊行を実施し、調査を着実に完了します。 報告書刊行資料について台帳を作成して収蔵保管するとともに、調査研究を行い、展示・公開等の活用に努めます。	・効率的な本発掘調査・史跡古津八幡山遺跡確認調査・整理作業の実施 ・発掘調査報告書刊行 ・文化財センター年報の刊行 ・上記考古資料の台帳作成及び収蔵保管	発掘調査報告書については、予定どおり編集作業まで行いました。文化財センター年報を刊行しました。本発掘調査2件、確認調査1件を予定通り実施しました。	B:達成
2	市民	文化財センター入館者・各種イベント参加者数の増	・文化財センター入館者(人)	11,970	9,577	5,691	6,700	7,469	文化財センターで多様なテーマの企画展や講演会、現地説明会等を開催するほか、学校や地域に出向いて講座等を開催して、文化財に対し関心・理解を深めていただけるよう努めます。	・企画展および関連講演会の開催 ・文化財センター外で行う各種講座等 ・遺跡発掘調査現地説明会 ・遺跡発掘調査速報会 ・各種出前講座	感染対策を講じて行っていた体験コーナーが好調で(前年度比1.8倍)、入館者数の回復につながりました。また、古津八幡山遺跡で、新たに方形周溝墓1基発見されたこともあり、現地説明会には、目標を超える参加者が訪れました。まん延防止等重点措置の中での発掘調査速報会の実施となり、オンライン配信を行いました。会場来館者が減り、参加者が目標を下回りました。小学校への出前講座が集中する時期に(1月中旬～2月下旬)、まん延防止等重点措置が実施された。	C:未達成
3	市民	国史跡古津八幡山遺跡への理解・認知度の向上	史跡古津八幡山弥生の丘展示館入館者(人)	42,357	49,426	29,087	30,000	26,682	国史跡古津八幡山遺跡の認知度を高めるために各種イベントを開催するとともに、企画展や講演会等を開催し、史跡の理解を深めることに努めます。	各種イベントを行い古津八幡山遺跡を広く知っていただくとともに、関連する企画展や講演会等を行い史跡の理解を深めるための調査研究を行います。	県の埋蔵文化財センターとの共同企画展を初めて開催しましたが、新型コロナウイルスの影響による臨時休館とまん延防止等重点措置の適用により、入館者数は目標を下回りました。募集型イベントは一部開催時期をずらし、講演会についても、入場定員を減らし事前申し込み制にし、さらにZOOM配信などの工夫することで密を避け、全て開催できました。	C:未達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>文化財センターは、国史跡古津八幡山遺跡・弥生の丘展示館と共に、埋蔵文化財及び有形民俗文化財を保存し、活用を図ることにより、文化財に対して市民の関心・理解を深めてもらえるよう、広く市民に文化財に関する情報を発信していきます。</p> <p>埋蔵文化財については、発掘調査を行い、発掘調査報告書を刊行します。さらに考古資料の再整理・台帳整備を行い、資料の適切な保存管理に努めます。また、有形民俗文化財についても台帳整備を進め、確かな保存管理を行うとともに、学校の社会科学習等での活用にも努めます。</p> <p>埋蔵文化財等に関する調査研究を行い、研究成果をご覧いただけるよう3回の企画展を開催します。同時に、市民ボランティアとの協力・連携を図り、展示解説など市民からの要望に対応できる施設運営を目指すとともに、学校や公民館への出前講座や市政わかやかトーク宅配便の利用促進に取り組めます。</p> <p>弥生の丘展示館では国史跡古津八幡山遺跡の理解を深めるための調査研究を行うとともに、3本の企画展をはじめ各種イベントを開催し、国史跡の認知度を高めるように努めます。</p> <p>また、北東域の史跡指定地外の確認調査を実施し、遺跡の広がりや内容把握を行い、史跡を適切に保存するとともに調査成果を広く発信します。</p> <p>なお、毀損した復元壁穴住居については、再整備に向けた復元方法などについて検討を進めます。</p>	<p>文化財センターは、新潟市文化財センター及び古津八幡山歴史の広場において、埋蔵文化財及び民俗文化財の保存・活用を通じて市民の関心・理解を深めてもらえるよう情報発信に努めました。</p> <p>埋蔵文化財については、3遺跡の発掘を行うとともに、発掘調査報告書の刊行に向けて3遺跡の編集作業を行いました。新潟市文化財センターでは、3回の企画展及びその関連講演会や発掘調査速報会を開催したほか、小学校等の団体利用や出前講座等の利用促進に努めましたが、臨時休館やまん延防止等重点措置の適用など新型コロナウイルスの影響が大きく利用者数が目標を下回った指標もありました。</p> <p>史跡古津八幡山歴史の広場では、県の埋蔵文化財センターと初めて共同企画展を開催したほか、学校利用や各種イベントを実施しましたが、こちらも新型コロナウイルスの影響が大きく、入館者数が目標を下回りました。一方、遺跡の発掘調査においては、複数埋葬施設を持つ大型の方形周溝墓が発見され、大きな成果となりました。</p> <p>文化財センターでは、今後、小学校等の団体利用を積極的に受け入れるとともに、映像やインターネットを活用した新たな取り組みも行いながら、埋蔵文化財と民俗文化財にかかる市民の理解を深められるよう努めていきます。</p>